

東北地方 1 か月予報

(2 月 8 日から 3 月 7 日までの天候見通し)

平成 1 5 年 2 月 7 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

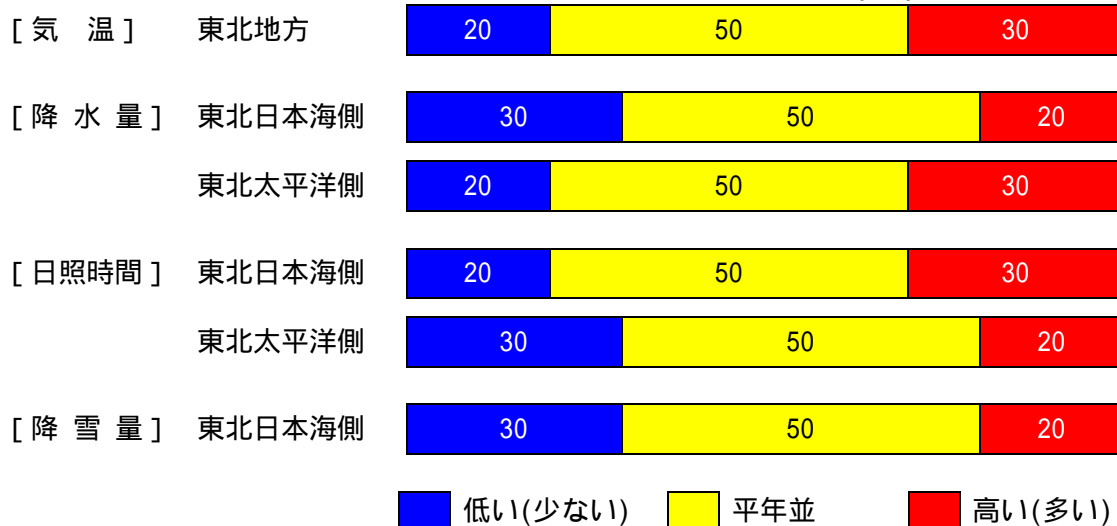
向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

期間の前半を中心に冬型の気圧配置となる日が多いですが、強い寒気の南下は長続きしないでしょう。東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

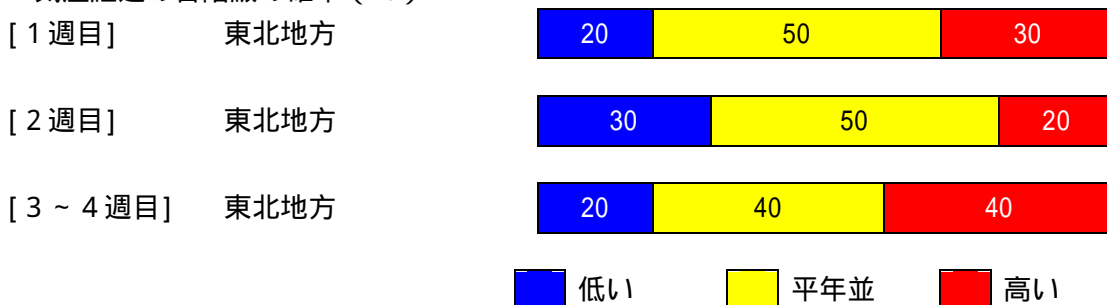
向こう 1 か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目と 2 週目は平年並、3 ~ 4 週目は平年並か高い見込みです。

< 向こう 1 か月の気温，降水量，日照時間，降雪量の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 2 月 8 日 (土) ~ 3 月 7 日 (金)
 1 週目 : 2 月 8 日 (土) ~ 2 月 1 4 日 (金)
 2 週目 : 2 月 1 5 日 (土) ~ 2 月 2 1 日 (金)
 3 ~ 4 週目 : 2 月 2 2 日 (土) ~ 3 月 7 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 2 月 1 4 日
 3 か月予報 : 2 月 2 0 日 (木) 1 4 時 0 0 分
 暖候期予報 : 3 月 1 0 日 (月) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30年平均値（向こう1か月の平均気温，降水量，日照時間，降雪量と1週目，2週目，3～4週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温 ()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	1.3	57.4	142.5	20	0.6	1.1	1.8
新庄	-0.4	128.6	66.7	-----	-1.1	-0.8	0.1
若松	0.2	63.4	103.6	94	-0.6	-0.2	0.8
深浦	0.3	74.0	59.1	53	-0.5	-0.1	0.8
青森	-0.6	99.5	84.1	170	-1.5	-1.0	0.1
むつ	-1.0	81.0	102.2	-----	-1.9	-1.4	-0.4
八戸	-0.3	48.8	136.6	51	-1.2	-0.7	0.3
秋田	0.7	89.9	76.1	68	-0.1	0.3	1.3
盛岡	-1.0	56.7	133.7	52	-1.9	-1.4	-0.3
宮古	0.7	75.6	153.1	38	0.0	0.4	1.2
酒田	1.9	104.8	71.3	48	1.3	1.6	2.4
山形	0.4	64.4	107.7	77	-0.4	-0.1	1.0
仙台	2.2	49.2	153.3	23	1.6	1.9	2.7
石巻	1.4	44.1	163.7	21	0.7	1.1	2.0
福島	2.4	51.1	148.5	28	1.6	2.0	2.9
白河	1.0	44.0	155.7	-----	0.3	0.7	1.6
小名浜	4.2	62.7	171.6	0	3.5	3.9	4.6

なお、気温，降水量，日照時間，降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温，降水量，日照時間，降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差 ()	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)	降雪量平年比 (%)
東北地方	-0.5 ～ +0.6	79 ～ 112	97 ～ 104	70 ～ 122
東北日本海側	-0.5 ～ +0.5	92 ～ 108	92 ～ 106	78 ～ 126
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.6	63 ～ 121	98 ～ 104	61 ～ 122

（３）この予報期間の1週目，2週目，3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.8 ～ +0.9	-0.9 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.6
東北日本海側	-0.8 ～ +0.9	-0.9 ～ +0.9	-0.7 ～ +0.5
東北太平洋側	-0.8 ～ +1.0	-0.9 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.6

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率60％の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに33％）から大きく隔たった確率（10％や60％、70％など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 15 年 2 月 7 日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(2 月 8 日～3 月 7 日) :

期間の前半を中心に冬型の気圧配置となる日が多いですが、強い寒気の南下は長続きしないでしょう。東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目(2 月 8 日～2 月 14 日) :

期間の初め、気圧の谷が通過し天気の状態が崩れるところがあるでしょう。中頃からは冬型の気圧配置となるため、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は概ね晴れるで見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目(2 月 15 日～2 月 21 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目(2 月 22 日～3 月 7 日) :

天気は概ね周期的に変化し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

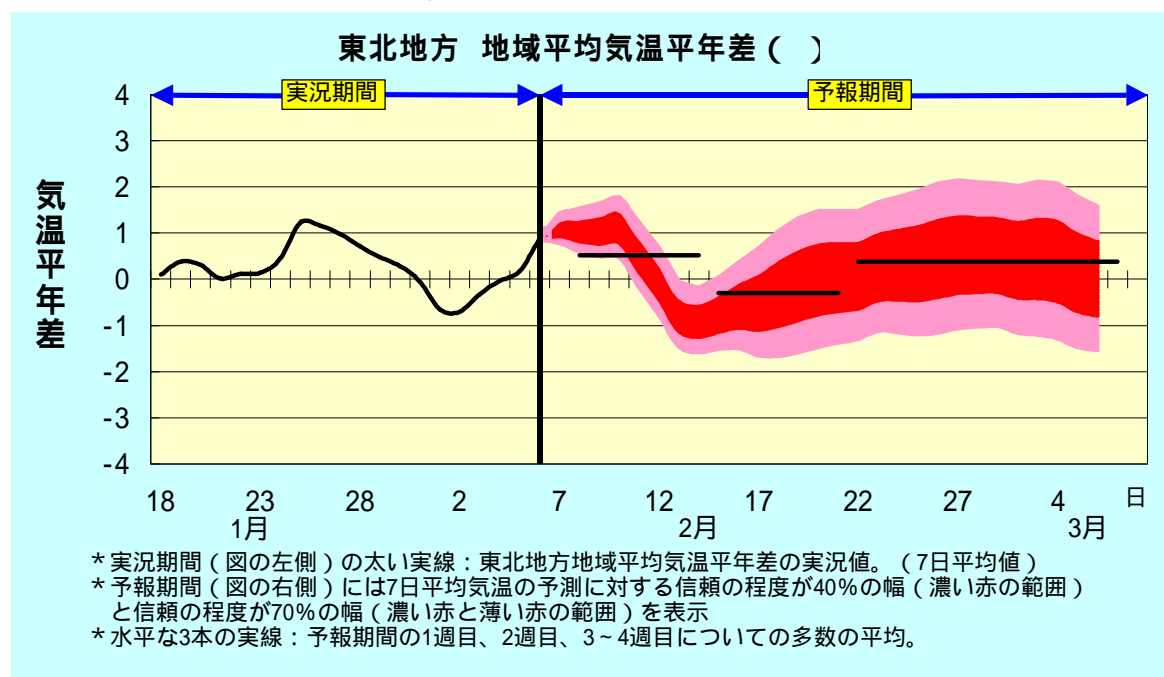
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数

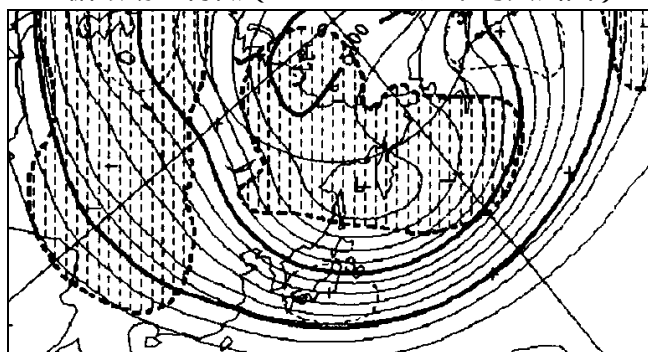
	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	7.6 日	1.5 日	1.7 日	4.4 日
東北太平洋側	17.9 日	4.7 日	4.3 日	8.9 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目共に「平年並」を予測している。予報は、その他の資料から 3～4 週目を「平年並か高い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

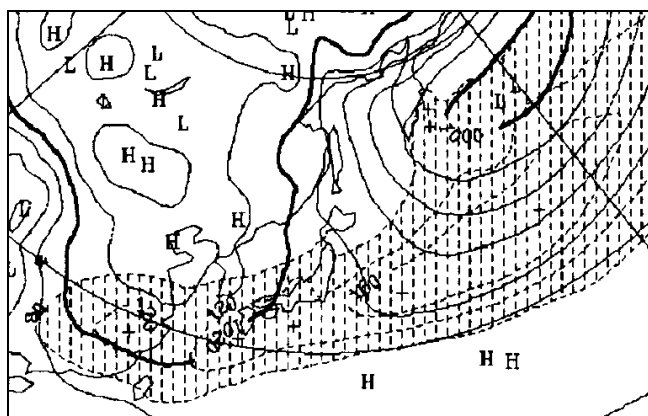


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、オホーツク海からアリューシャン列島付近が負偏差となる他は、日本付近は広く正偏差に覆われる。

週別（図略）では、1 週目と 2 週目はオホーツク海付近の負偏差が月平均と比べ強く、北からの寒気の南下を示唆するが、東北地方は各週とも正偏差に覆われ、寒気の影響は弱い見込み。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、まとまった降水域は日本の南岸を東西に広がる予想。

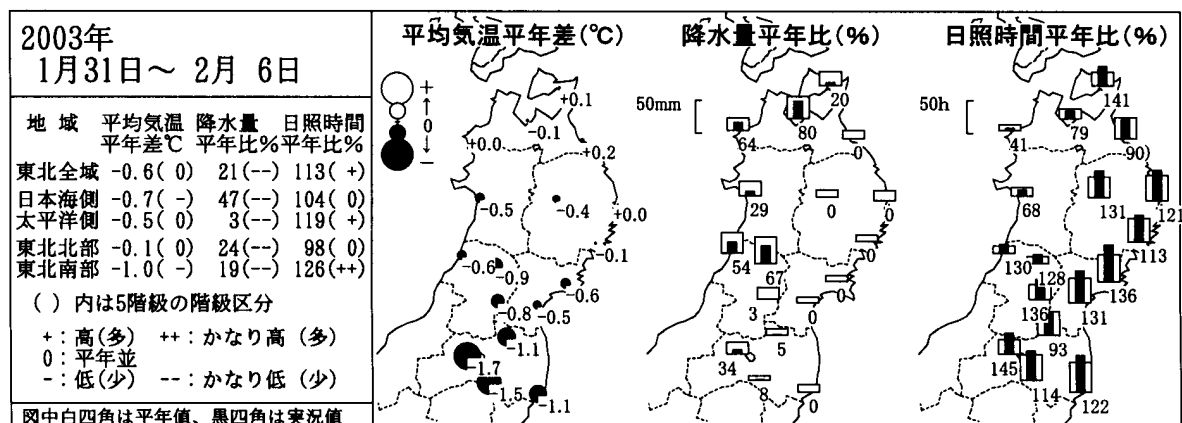
日本付近は西高東低の冬型の気圧配置だが、等圧線の間隔はまばらで強い冬型の気圧配置は長続きしない。

週別（図略）では、2 週目に北日本から日本の東海上にかけて等圧線の間隔が狭まり、冬型の気圧配置が一時強まる予想。

4. 最近 1 週間（1 月 31 日～2 月 6 日）の天候の経過

この期間、冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は北部を中心に曇りや雪、東北太平洋側は概ね晴れた。5 日を中心に明け方の冷え込みが強まり、各地に低温注意報を発表した。

平均気温は東北北部で平年差-0.1 と平年並、東北南部で平年差-1.0 と低かった。降水量は、東北地方で平年比21%とかなり少なかった。日照時間は、東北北部で平年比98%と平年並、東北南部で平年比126%とかなり多かった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）